令和７年度　校内研修計画

甲州市立玉宮小学校

１　学校課題

玉宮地区は、平沢地区に生息するザゼンソウやカタクリ、竹森川のホタルやヤマメ、また水晶など特有の自然に恵まれている地域である。また、神社・寺・道祖神などの史跡が多く、古い言い伝えなどの文化が残っている地域でもある。学校教育に関しても関心が高い地域であり、多くの地域の方に講師として学習指導に携わっていただいている。

本校の児童は、全校児童が２２名と小規模校であり、みんな明るく素直で、主体的に学校生活を送っている。児童会を中心とする様々な活動を通して、学年の枠を超えた交流も多く、上級生が下級生の面倒をよく見たり、休み時間や放課後にも、異年齢で仲良く遊んだりする姿が見られる。学校行事や児童会行事では、すべての児童に活躍の場をつくり、児童一人一人が力を発揮できるよう計画をしている。本校のような少人数学級では、人間関係が固定化されないよう、教師が児童の「持っている力」や「よさ」を引き出す集団づくりを進めていくことが大切である。

学習指導においては、少人数で授業を行うことができるため、教師が児童の実態を把握でき、一人一人に合った学習指導が可能である。さらに、児童が自分に合った方法、ペースで学習が進められるよう、学習指導を進めていくことが求められる。

２　研究主題

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**「主体的に学ぶ児童の育成」**

**～地域連携とＩＣＴ活用による主体的な学びの深化～**

３　主題設定の理由

昨年度、本校は「主体的に学ぶ児童の育成」～リアルな体験とデジタルツールの活用を通して～を研究主題とし、地域体験とICT活用を軸に探究的な学びを推進してきた。その中で、主体的な学びを引き出すための授業改善、安心して学べる学級づくり、地域連携の重要性を再認識できた。

今年度もこの主題を継続し、昨年度の取り組みをさらに深化させていきたい。地域でのリアルな体験を核とした探究学習を各教科で展開し、個別最適な学びを実現するICTの効果的な活用方法を具体的に探究していく。また、学習計画の見直しや更なる人材、地域素材発掘を通し、体験の質を高めていきたい。

また、主体的な学びの基盤となるのは、安定した学級集団である。WEBQU調査の継続的な分析と対策に加え、児童の自己肯定感や自己有用感を育む手立てを講じ、誰もが安心して意見を発信し、主体的に学びに向かう学級づくりを目指していく。

昨年度の研究を通して得られた成果と課題を踏まえ、地域の特色を生かしたリアルな体験とICT活用をさらに融合させ、「主体的に学ぶ児童の育成」をより一層推進していきたいと考え、この主題を設定した。

４　研究仮説

各教科の探究的な学習において、地域の特色を生かしたリアルな体験とＩＣＴの効果的な活用を図ることで、ふるさとを大切に思う気持ちが高まり、主体的に学ぶ児童が育成されるであろう。

５　研究の具体的内容と方法

(1)子供主体の授業づくり

* 1. 教員のスキルアップ研修・学習会の実施（講師招聘）

・ＩＣＴの効果的な活用についての学習会

・地域を知るための臨地研修

・授業力向上に関わる研修

* 1. 一人一実践授業及び振り返り

・　ティーチャーズノートの活用

・地域素材を生かした体験的な学習に関わる一人一実践授業の公開、振り返り

* 1. 児童のICT活用スキルの向上に向けた取組

・児童の活用スキルの現状把握と対策（「らっこたん」「めざせ‼タイピング名人‼」）

（２）みんなが安心して学べる学級づくり・集団づくり

　　　①　WEBQU調査の分析と対策

　　　　　・全職員によるWEBQUの分析と対策

　　　②　人間関係の向上を目指した取組

　　　　　・なかよしスキルタイム（構成的エンカウンター、ソーシャルスキルトレーニング）

③学習環境の整備

　　 　　・「玉宮　小学習スタンダード」・「玉宮小学習のきまり」への取組

　　　 　・学習に関わるＩＣＴ環境の充実

④インクルーシブ教育に関する学習会及び情報交換

（３）保護者・地域住民との連携

　　 ① 社会に開かれた教育課程の編成・充実

・地域学習年間計画の実施と見直し

・地域人材と地域教育資源の発掘及び活用

　 　② 家庭学習の充実

　　 　・自主学習ノートの取組及び改善（メニューの提示、ノートの紹介、コメント等の工夫）

【その他の取組】

・教育課程研修還流報告会

・全国学力・学習状況調査の分析と対策

　　　 ・ＣＲＴ検査の分析と対策

６　年間校内研修計画

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 回 | 月　日 | 研究内容 | 提案・担当 | 講師 |
| １ | ４／　９（水） | ・昨年度の研究について・今年度の研究について・玉宮小スタンダードについて | 研究主任 |  |
| ２ | ４／２３（水） | ・今年度の研究について | 研究主任 |  |
| ３ | ５／２１（水） | ・子供主体の授業づくりに向けた学習会（臨地研修） | 研究主任 | ☆ |
| ４ | ５／２８（水） | ・子供主体の授業づくりに向けた学習会（臨地研修） | 研究主任 | ☆ |
| ５ | ６／　４（水） | ・WEBQUの分析と対策 | 研究主任 |  |
| ６ | ６／１９（木） | ・特別研修参加（総合教育センター） | 研究主任 |  |
| ７ | ７／　２（水） | ・ICTを用いた効果的な指導法について（指導主事招請） | 研究主任 | ☆ |
| ８ | ７／１６（水） | ・インクルーシブ教育学習会・多様な教育的ニーズのある子供たち・多様な学びを支える学級づくり・学習障害（LD）の子供たちへの指導・支援 | 特別支援コーディネーター | ☆ |
| ９ | ８／２７（水） | ・教育課程還流報告会 | 教務主任 |  |
| 10 | ９／　３（水） | ・全国学力学習状況調査の分析と対策 | 教務主任 |  |
| 11 | ９／２４（水） | ・授業づくり（一人一実践授業に向けて） | 研究主任 |  |
| １２ | １０／　１（水） | ・授業づくり（一人一実践授業に向けて） | 研究主任 |  |
| 1３ | １０／２０（月） | ・授業づくり（一人一実践授業に向けて） | 研究主任 |  |
| 1４ | １１／　５（水） | ・WEBQUの分析と対策 | 研究主任 |  |
| 15 | １２／　１（月） | ・伝え方・話し方講座 | 研究主任 | ☆ |
| 16 | １２／１７（水） | ・一人一実践授業ふりかえり・研究紀要について | 研究主任 |  |
| 17 | １／１９（月） | ・今年度の研究のまとめ | 研究主任 |  |
| 18 | １／２８（水） | ・今年度の研究のまとめ | 研究主任 |  |
| 19 | ２／　２（月） | ・研究紀要作成 | 研究主任 |  |
| 20 | ２／１６（月） | ・ＣＲＴ検査の分析と対策 | 研究主任 |  |
| 21 | ２／２５（水） | ・研究紀要作成（校正） | 研究主任 |  |
| 22 | ３／　４（水） | ・子供主体の授業づくりに向けた学習会（臨地研修） | 研究主任 | 　☆ |

 　　（研究主任 奥山　美恵）